



【撮影時点：平成27年10月】

上河原崎・中西地区

まちづくりニュース

NO. 49

CONTENTS

P. 1～3 【特集】

つくば市及びつくばエクスプレス
と田園都市島名の歩み

P. 4

- ・まちづくり協議会の主体による植樹事業について
- ・使用収益開始についてお知らせします



「田園都市島名を緑と花の息づくまちにしたい」
～そんな想いの下に集まった仲間たち～



島名地区まちづくり協議会を中心とした植樹事業が、平成28年8月18日(日)に島名地区の香取神社で行われました。(詳細はp4へ)

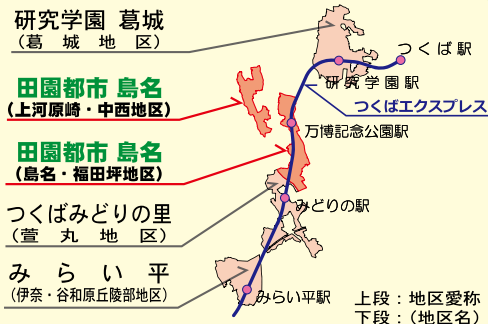
上河原崎・中西地区の皆様には、日頃から土地区画整理事業に対してご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度は第47号まちづくりニュースで「TX10周年」、第48号で「科学万博30周年」を取上げさせて頂きました。それら特集の総括を踏まえ、今号では「田園都市 島名」とつくば市及びつくばエクスプレス(※以下、タイトル及び「」表記以外はTXとする)の歩みについて、特集として整理させて頂きました。さらに、市民によって地域で行われた植樹のイベントについてもご紹介いたします。

「田園都市 島名」とは!?

2005年(平成17年)に、TX沿線のまちづくりの魅力を首都圏に広くPRしていくため、茨城県とUR都市機構は地域の皆様との意見交換に基づき各地区の愛称を決定しました。そこで島名・福田坪地区及び上河原崎・中西地区の愛称が「田園都市 島名」と決定しました。

— 街のコンセプト —

【ともに育み はぐくまれるまち 「田園都市 島名」 体験しよう! 緑と街との交流】のもとまちづくりを進めてきました。



特集

つくば市及びつくばエクスプレスと田園都市 島名の歩み

特集

つくば市において、科学万博つくば'85(昭和60年)の開催は、筑波研究学園都市の名声を世界に広め、2年後に誕生することとなる「つくば市」へ歴史を引き継ぐプロジェクトとしても極めて大きな役割を果たしました。その後、都心とつくばを結ぶ鉄道ニーズが高まり、1991年(平成3年)に「首都

圏新都市鉄道株式会社」が設立され、2001年(平成13年)に鉄道路線名が(仮称)常磐新線から新名称の「つくばエクスプレス」に決定し、茨城県施行の土地区画整理事業(島名・福田坪及び上河原崎・中西地区)については、2001年(平成13年)に事業計画決定し、動き出しました。2005年(平成17年)8月24日には「つ

くばエクスプレス」が開業し、秋葉原～つくば間の58.3kmが最速45分の都市高速鉄道で結ばれ、新たな都市軸が形成されました。TXの整備は線の整備と、同時に土地区画整理事業を中心としたまちづくりが相互に補完し合いながら相乗効果も期待できる事業となり、今日に至っています。

つくば市及びつくばエクスプレス

10年間の歩み



- つくば市の人口が20万人突破
- 「つくばエクスプレス」開業

2005年 (H17)



- 「つくバス」運転開始
- 「筑波山きっぷ」発売(TX)

2006年 (H18)



- つくば市が特例市に移行
- つくばナンバースタート
- つくば市制20周年

2007年 (H19)



- 首都圏中央連絡自動車道開通(つくばJCT～つくば中央IC間)
- つくば市新庁舎開庁
- TX開業5周年

2009年 (H21)



- 東日本大震災発生
- 「つくばモビリティロボット実験特区」認定
- 「国際戦略総合特区」に指定
- TX年間輸送人員1億人突破

2011年 (H23)

田園都市 島名 (島名・福田坪地区及び上河原崎・中西地区)

- 「田園都市 島名」の駅周辺の県道と市道が開通
- 万博記念公園駅東口に科学万博のモニュメント(岡本太郎氏作)「未来を視る」が移設



- つくばまちづくりセンターが万博記念公園駅西口のウィンズビルに移転



- 島名上河原崎線が開通



- 新都市中央通り線が開通(土浦坂東線から国道354号)
- 万博記念公園駅前のマンション「ガレリアヴェール」が新築

- 万博記念公園駅西口に駐在所が新設
- 商業施設ピアシティが開業(島名・福田坪)
- 現事務所名「土浦土木事務所 つくば支所」に名称変更





【万博当時の風景】

- つくば市制25周年
- 全市立学校にて小中一貫教育の開始
- T X 増備車両 運転開始 (1編成6両及び2編成12両)

2012年 (H24)

- 「まもりの杜公園」供用開始 (島名・福田坪)

- 環境モデル都市に選定
- 筑波研究学園都市50周年

2013年 (H25)

- 国道354号バイパスが開通
- 保育園が開設(上河原崎・中西)
- 緑住街区の新集落が「グリーンフィールド島名」に決定 (上河原崎・中西)

- T X の運賃改定 (消費税率の引上げ)

2014年 (H26)



- T X 開業10周年
- つくば科学万博30周年

2015年 (H27)

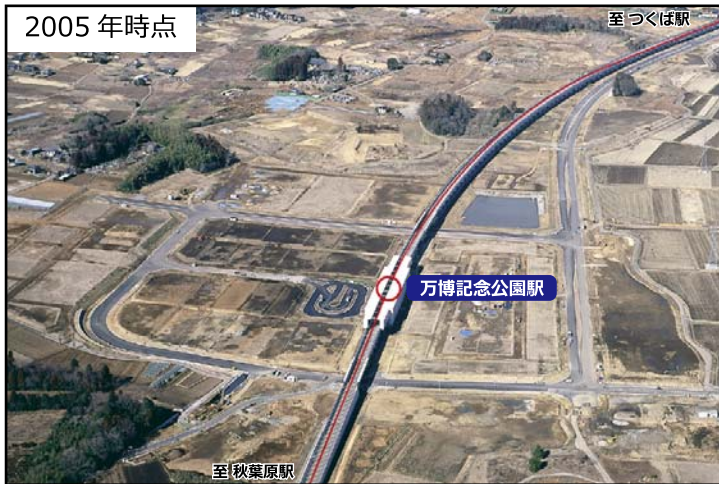


現在の田園都市島名及び周辺の状況

現在の「田園都市 島名」を取り巻く状況についてご紹介します。

はじめに、下記の写真は2005年(平成17年)と2015年(平成27年)時点の「万博記念公園駅周辺」の状況です。TXの開業から10年間で、駅周辺にはマンションや商業施設等が立地し、まちの風景は一変しました。

また、各種データの推移からも、つくば市・TX・田園都市 島名の成長・発展を見ることが出来ます。



2005年時点

TX開業当初と10年後の風景



2015年時点

提供：首都圏新都市鉄道株式会社

| | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| 人口の推移【住民基本台帳】 (つくば市) | 191,582人 (H17年：2005年) | 市の将来人口は、平成48年時点で約25.9万人と推計しています | 220,135人 (H26年：2014年) |
| 住みよさランキング (つくば市) | 30位/806都市 (H21年：2009年) | ランキングが上がっています ※東洋経済都市データより | 16位/791都市 (H27年：2015年) |
| つくばエクスプレス(TX) 乗降客数の推移 | 約150,700人/日 (H17年：2005年) | 約2.2倍になっています | 約325,600人/日 (H26年：2014年) |
| 万博記念公園駅乗降客数の推移 | 約700人/日 (H17年：2005年) | 約3.6倍になっています | 約2,500人/日 (H26年：2014年) |
| 地区内人口の推移 (田園都市 島名) | 約300人 (土地区画整理事業前) | 約17倍になっています | 約5,000人 (H27年12月：2015年) |
| 土地区画整理事業第76条申請*の推移 (田園都市 島名) | 2件 (H17年：2005年) | 申請数の増加から、多くの建築物等が建ったことがわかります | 約900件 (H27年12月：2015年) |

*土地区画整理事業の施行地区内において、建築物及び工作物の新築や土地の形質の変更等を行う場合に必要となる許可申請のことです。

これから(未来)の田園都市 島名を取り巻く状況

つくば市及び「田園都市 島名」は、TXの開業、TX沿線の土地区画整理事業等により加速度的に成長・発展し続け、人口も増加し全国的にも認知された魅力的な地域となっています。

また、今後のつくば市では、今まで以上につくば市の魅力を引き出し、発信するための契機となる事柄が多くあります。近い将来の最たる例が「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合の開催」や「首都圏中央連絡自動車の全線開通」等による経済効果や利便性の向上です。平成28年5月には、つくば市で「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合」があります。(次ページへ)

主要国首脳会議（サミット）と科学技術大臣会合

サミットは、日本・アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・カナダの7か国の首脳並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して毎年開催される首脳会議です。

サミットでは、国際社会が直面する様々な地球規模の課題について意見交換を行い、その成果が宣言としてまとめられます。

2016年のサミットは「三重県志摩市」で開催されることが決定しています。

サミットとは別に、参加国の閣僚が世界の重要課題について政策検討を行う「関係閣僚会合」も開催されます。

閣僚会合の内、**科学技術大臣会合「正式名：G7 茨城・つくば科学技術大臣会合」**が、つくば市で平成28年5月15～17日にかけて開催されます。

つくばロボットフェスタについて



科学技術大臣会合に先駆けて、つくば市をはじめとして、茨城県内ではG7関連のイベントが多く企画されています。

今回は、G7の関連イベントとして平成28年2月13日（土）・14日（日）に開催された「つくばロボットフェスタ」についてご紹介します。オープニングセレモニーは、つくば市長の挨拶ではじまり、「つくば科学技術大臣会合を契機に、つくば市の魅力を世界に発信していく」といった内容の言葉がありました。

また、今回がつくば市での初開催となる“ロボワン”やG7各国のロボットたちが勢ぞろいし、多くの人で賑わいました。



アンケートをとる Pepper(ペッパー)

◆G7各国で生まれたロボットたち

NAO(フランス)

人・声の認識や会話、移動ができる家庭用ロボット。
(各々の好みにあった、カスタマイズができる)



MiRO(イギリス)

バイオメトリック・ロボット。
周囲の環境を学び、感情を持ち、行動する自律型ロボット。



Beam Pro(アメリカ)

遠隔地同士をリアルタイムでつなぐプレゼンシステムロボット。
(自走能力とテレビ電話のような機能を兼ね備えている)



パロ(日本)

医療・介護面などで、楽しみや安らぎなどの精神的なセラピー効果を目的にしたロボット。



Genny(イタリア)

セグウェイの技術を応用した電動車いす。
8時間の充電で30kmの走行が可能。



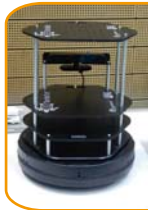
LBriiwa(ドイツ)

次世代協調型ロボット。
人と協調して働く産業用多関節ロボット。
会場では、アームであめを掴み配っていました。



Turtlebot 2(カナダ)

自律走行ロボットアプリケーションの開発・試作等を効率化するための、基盤となるロボット。



屋外の体験コーナーでは、モビリティロボット試乗(セグウェイ等)が楽しまれていました。

◆ROBO-ONE(ロボワン)

ROBO-ONE(ロボワン)は、二足歩行ロボットの格闘技大会です。

つくば市での開催は今回が初となります！！

日本全国の猛者達だけでなく、世界(韓国等)からも沢山の参加者がおり、臨場感あふれる白熱のバトルが繰りひろげられていました。



進化し続ける都市「つくば」・伸び代のある街「田園都市 島名」

今年につくば市における科学技術大臣会合の開催は、国際科学技術都市であるつくば市や、茨城県の魅力を世界に発信する絶好の機会となり、今後のつくば市や茨城県全体の発展の礎になるものと想定されます。

つくば科学万博から30年、TX開業から10年、今後はG7開催、圏央道全線開通等と多くの影響を受けて、つくば市ひいては「田園都市 島名」地域は着実に魅力的な地域に成長し、これからも発展し続けていきます。

皆さんも、進化し続ける都市「つくば」の未来に想いをはせ、進化を見守るだけではなく、更により良い「深化したまち=住みやすい成熟したまち」のために行動してみてもはいかがでしょうか？(そのような行動の一例が4ページに記載してあります)

まちづくり協議会の主体による植樹事業について

「田園都市島名を緑と花の息づくまちにしたい」

～そんな想いの下に集まった仲間たち～

島名・福田坪と上河原崎・中西土地区画整理事業地内の魅力向上を目指し、島名地区まちづくり協議会会長である鈴木信男氏を中心とした植樹事業が進められています。

まちの魅力づけに木々や花々は欠かせませんが、肝心の手法はわからないことばかり。

—昨年10月から数回の勉強会を重ねて、この3月13日(日)に記念すべき第1回の植樹を実現することができました。



今回植樹を行った場所は、まもりの杜公園に隣接する「香取神社」です。まちづくり協議会と香取神社の氏子(うじこ)が協力して植樹を行いました。将来は、公園と一体的にもみじの溢れる紅葉(もみじ)谷を目指しての試みです。



今回用意した苗木は、イロハモミジと出狸々(デショウジョウ)という品種のモミジです。

イロハモミジは1種類、出狸々は葉が赤と黄色になるもの2種類の各25本ずつを用意し、みんなで力を合わせて植樹を行いました。

添え木をしたり、水をかけたり、大変な作業でしたが、終わったら達成感で満ち溢れた姿を見せてくれました。

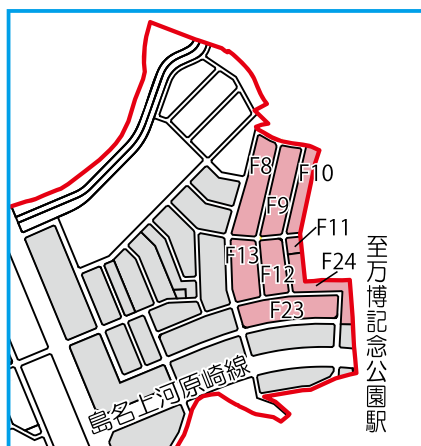
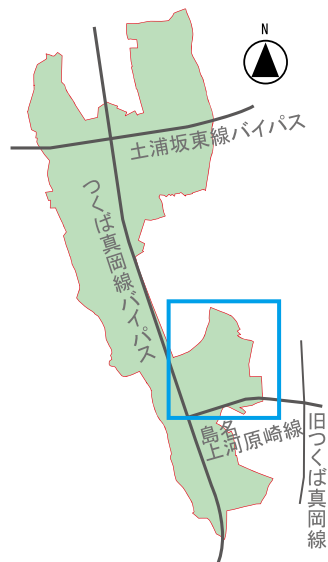
少しずつ増えていく木々や花々と共に広がる出会いの輪。まさにこれらは、「田園都市 島名」のコンセプトを体現する活動です。そしてまちづくり協議会のメンバーは、次の植樹に早くも想いを馳せています。住みよいまちを目指し、まちづくり協議会の活動はこれからも続けられていきます。



使用収益開始についてお知らせします

使用収益が開始された宅地の状況につきましては、宅地全体約92haの内、約13.8ha(約14.9%)について、使用収益開始済となっております。(平成28年3月1日時点)

また、平成28年2月及び3月に、下図で示した箇所の使用収益を開始いたしました。



※使用収益開始とは「宅地の造成」や隣接する「道路」及び「上・下水道、ガス等の供給処理施設」工事が完了し、換地先(仮換地)の土地が使えるようになることです。



- 使用収益開始箇所(平成28年2月・3月)
- 使用収益開始済箇所(整備済保留地を含む)

※使用収益開始された土地の区画形質の変更(造成など)や建物の新築等を行う場合、土地区画整理法第76条の申請などが必要です。

～施行者からのお知らせ～

マイナンバー制度の導入に伴うお知らせ

平成28年1月より県から支払われる借地料・補償料等のある方にはマイナンバーの確認が必要になる場合があります。詳細については、後日改めてお知らせします。

【ご連絡下さい】

住所や氏名、権利などの変更が生じた場合

住所や氏名、所有権などの変更が生じた場合は、土浦土木事務所つくば支所までご連絡ください。

今後重要な通知等をお届け出来なくなったり、換地上の支障が生じたりすることもありますので、必ずご連絡下さいますようお願いいたします。

【届出してください】

- 住所・氏名が変わったとき
- 所有権等の権利が変わったとき

【事前にご相談ください】

- 土地を分筆しようとするとき



【各種ご協力をお願い】

工事施工箇所及び周辺への立ち入り禁止

つくばエクスプレス沿線では、土地区画整理事業の工事を実施しており、工事区域周辺の皆様には大変ご不便をおかけしております。

工事用車両の出入り等には十分注意しておりますが、工事施工箇所及びその周辺は非常に危険ですので、一般の方は決して立ち入らないようご協力をお願いいたします。

廃棄物の不法投棄防止

所有地の地表、地中に廃棄物がある場合には、土地所有者の責任で処理をお願いいたします。廃棄物が存在する土地については、土地区画整理事業の土地評価に影響することもあります。

なお、廃棄物が確認された土地については、当該土地所有者の現場立ち会いを予定しておりますので、不法投棄防止にご理解・ご協力をお願いいたします。

所有地の雑草除去

景観維持や防犯のため、除草作業など所有地の適正管理にご協力をお願いいたします。ご自分で除草が困難な場合、つくば市空き地除草条例に基づき、市で業者のあっせんも行いますので、下記までお問い合わせください。

【お問合せ先】 つくば市役所 環境保全課 電話：029-883-1111（代）

宅内公共雨水ますの適正な維持管理

宅地の浸水を防ぐ効果を維持させるため、時々、宅内公共雨水ますの蓋を開けて、土砂などが溜まっていたら、取り除くようご協力をお願いいたします。

事業用地(店舗、事業所、共同住宅等)の分譲について

茨城県では事業用地の分譲を行っております。事業用地取得のご検討の際にはお気軽に下記までお問合せください。

【お問合せ先】 土浦土木事務所つくば支所 土地販売推進課 電話：029-839-9760

【お問合せ】

茨城県土浦土木事務所つくば支所 つくば地区区画整理課
Tel.029-839-9764

〒300-2658 茨城県つくば市島名2335（諏訪C13街区7）ウインズビル2階（万博記念公園駅から徒歩1分）

<http://www.pref.ibaraki.jp/doboku/urado/jigyo/index.html>

土浦土木つくば支所

検索